

# 佐竹由美

ソプラノリサイタル  
英米歌曲シリーズ Vol.5

H.R. ビショップ: 見よ! ほら優しいヒバリが

H.R. Bishop: Lo! Here the Gentle Lark

F. シューベルト: 聞け、天空のヒバリを

F.Schubert: Horch, horch, die Lerch im Äther blau! (Ständchen)

A. ビーチ: 3つのシェイクスピアの歌 作品37

A. Beach: 《3 Shakespeare Songs Op.37》

P.A. グレンジャー: 柳の歌

P.A. Grainger: Willow, willow

E.W. コルンゴルト: 4つのシェイクスピアの歌 作品31

E.W. Korngold: 《4 Shakespeare songs Op.31》

R. クィルター: 4つのシェイクスピアの歌 作品30 より

どうすればあなたの真実の愛を

R. Quilter: from 《4 Shakespeare songs Op.30》

How should I your true love know?

M.V. ホワイト: オフィーリアの歌

M.V. White: Ophelia's Song

A. トマ: オペラ「ハムレット」より

私も仲間に入れて下さい (オフィーリア狂乱の場)

A.Thomas: 《Hamlet》 A vos jeux, mes amis

江口 玲 piano



2016年10月23日回

14:00開演 / 13:30開場

東京文化会館 小ホール

全席自由 4,000円

シェイクスピアの世界、愛の形



主催: N & A design

協力: タカギクラヴィア株式会社

後援・マネジメント: 東京二期会

チケット取扱: 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

チケット取扱・お問合せ: 二期会チケットセンター 03-3796-1831

# 佐竹由美

ソプラノリサイタル 英米歌曲シリーズ Vol.5

# シェイクスピアの世界-愛の形-

互いに求めた愛の形のすれ違いにより起きた悲劇の物語「リア王」。

私が出会った初めてのシェイクスピア作品であり、愚かにも娘の愛情を言葉で計ろうとした父と、誠実さ故に真の愛を伝える術を持たなかった娘の心情は、強烈な印象とともに、今なお私の中で特別な物語として存在しています。

このようにシェイクスピアの描く世界は一瞬にして私達を捉えてしまうほど、どの時代においても決して色あせることなく、複雑に絡んだ人間模様を通して、生きることの豊かさ、愚かさ、許しが描かれているのです。シェイクスピアはこの人間の繰り返す愚かしさえも愛おしいがごとく丁寧に描き、人間とは、人生とはなにか、言葉を介して深く私達に問いかけています。

シェイクスピア没後400年記念にあたる本年のリサイタルでは、主に二人の女性「オフィーリア」と「デズデモーナ」に光を当ててプログラムを組んでみました。真実の愛、その愛のもたらす苦しみ、自然への賛美、神への敬愛。シェイクスピアの描く愛の世界は、かくも多様なのです。

佐竹由美 Satake, Naomi / soprano

東京藝術大学及び同大学院博士課程修了。在学中、東京藝大「メサイア」公演のソリストとしてデビュー。学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂にて御前演奏の栄を授かる。ロータリー国際親善奨学生として渡伊。第53回日本音楽コンクール第2位入賞、同時に最高位に贈られる福沢賞受賞。イタリア・ノバラ市国際声楽コンクール第2位入賞。ライプツィヒ第8回バッハ国際コンクール第4位入賞。

バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「カンタータ」、ヘンデル「メサイア」、モーツアルト「レクイエム」「ハ短調ミサ」、ハイドン「天地創造」、メンデルスゾーン「聖パウロ」等、宗教作品のソリストとしての活躍は目覚しく、その確かな技術に支えられた透明感のある美声と洗練された歌唱が最大の魅力で常に高い評価を得ている。

また英米歌曲や日本歌曲などのコンサート活動をはじめ、現代作品においても作曲家諸氏から絶大なる信頼を得て数多くの新作作品の演奏に関わっている。

大学院博士課程においてはS.バーバー、A.コーブランドなど、20世紀アメリカ芸術歌曲をテーマに研究・演奏を行う。コーブランド《エミリーディキンソンの12の詩》～「アメリカ的」なるものの考察と作品分析～にて博士号を取得。

2009年2月より文化庁芸術家在外研修員としてニューヨークにて研鑽を積む。

オペラにおいても『後宮からの逃走』『フィガロの結婚』『魔笛』『エジプトのヘレナ』(日本初演)『ダナエの愛』など、二期会、日生劇場などにおいて主要キャストとして活躍、またチェスティ、ヘンデル、パーセルなどのバロックオペラにも出演、好評を博す。

2005年ソロアルバム『A Lei ~あなたへ~』、2008年『A Singing Bird~歌う小鳥』(日本アコースティックレコード)をリリース。

その他『世界の愛唱歌』・『ジョイフル・クリスマス』(キングレコード)、『バッハ・カンタータの森を歩む』I・II・III(東京書籍)、『バッハ幻の結婚カンタータ』(毎日クラシックス)、シューマンオラトリオ『楽園とペーリ』、国枝春恵作品集『セラフィム』、木下牧子室内楽作品集『ふるえる月』などがある。

2009年よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞受賞。2011年カワイサウンド技術・振興財団第1回音楽振興部門研究助成取得。二期会会員

佐竹由美 blog. <http://blog.goo.ne.jp/naomi1222>

江口玲 Eguchi, Akira / piano

東京藝術大学音楽学部作曲科、ジュリアード音楽院ピアノ科大学院修士課程、及びプロフェッショナルスタディーを卒業。欧米及び日本をはじめとする各国でのリサイタルや室内楽、協奏曲の他、ギル・シャハム、諫訪内晶子、竹澤恭子、アン・アキコ・マイヤース等、数多くのヴァイオリニスト達と定期的に共演。現在は東京、ニューヨークと二つの拠点を行き来し、国際的な活躍を続ける。ニューヨークタイムズ紙からは「非凡なる芸術性、円熟、知性」「流暢かつ清廉なるピアニスト」と賞賛され、これまでにカーネギーホールはじめ、演奏で訪れた国は25カ国に及ぶ。レコーディングはドイツグラモフォン、フィリップス等で計30枚以上、NYSCLASSICSより15枚のソロアルバムをリリースし、レコード芸術誌での特選盤選出など、高い評価を得ている。

現在、洗足学園音楽大学大学院客員教授、東京藝術大学准教授を務めている。

オフィシャル・ウェブサイト [www.akiraeguchi.com](http://www.akiraeguchi.com)

